

空間殺菌効果と蓄積効果の試験(肉処理室)

噴霧方法(A): 超音波加湿器 1分間噴霧 2.9分間休止の2.4時間

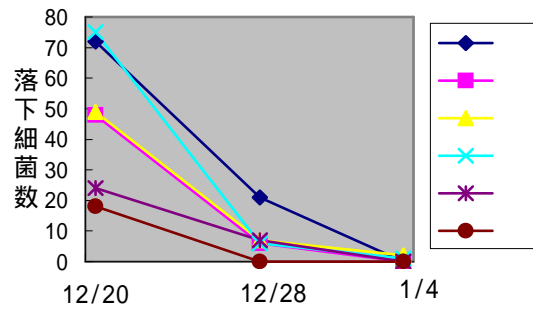
- ・ 測定時間: 一般細菌 5分間開放、大腸菌 5分間開放、真菌 1.5分間開放
- ・ 生成水: pH6.0、有効塩素濃度 50ppm
- ・ 期間: 12月23日~12月28日

噴霧方法(B): 超音波加湿器 AM11:00とAM9:00に5分間、1日2回噴霧

- ・ 他の条件はすべて(A)と同様
- ・ 期間: 12月28日~1月4日(噴霧(A)からの継続)

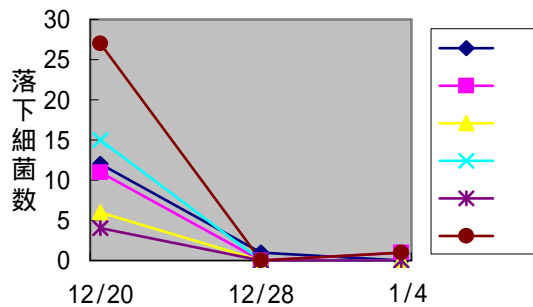
一般細菌測定結果

サンプル場所	12月20日	12月28日	1月4日
	72	21	0
	48	6	0
	49	7	2
	75	6	1
	24	7	0
	18	0	0



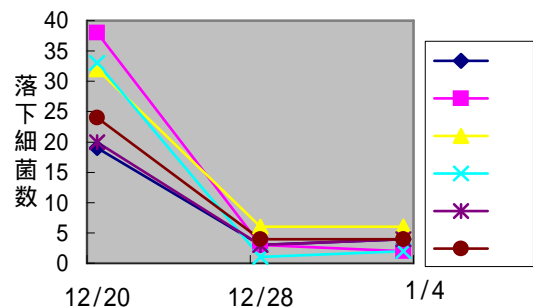
大腸菌測定結果

サンプル場所	12月20日	12月28日	1月4日
	12	1	0
	11	0	1
	6	0	0
	15	0	0
	4	0	0
	27	0	1



真菌測定結果

サンプル場所	12月20日	12月28日	1月4日
	19	3	4
	38	3	2
	32	6	6
	33	1	2
	20	3	4
	24	4	4



結果

- (1) 継続することで効果が上がりました。
- (2) 室内の肉臭がかなり軽減されました。
- (3) 落下菌の減少した時点で噴霧の方法を(A)から(B)に変更しても菌は増加しないことがわかりました。蓄積効果があることがはっきりと判明しました。汚染された工場にはもちろん、新設時に設置すれば半永久的に落下菌の心配はなくなります。